

4. 就学前からの教育の充実

(1) 幼児教育の充実 4-2

① 幼保小の接続期における教育推進

幼児期から小学校までの「子どもの育ちの連続性」を保障し、幼稚園、保育所（園）から小学校へスムーズな移行が行えるよう、幼保小接続期プログラム「えがお・わくわく」を作成し、幼稚園、保育所（園）、小学校でプログラムを実践する。また、幼保小連携会議を充実する取り組みを推進し、その実践の充実を図る。

② 本庄幼稚園運営事業

子どもが適切な幼児教育を受けられるように、佐賀市唯一の公立幼稚園として、その円滑な運営を行う。また、保育需要の動向に応じた施設設備の整備を進める。

③ 私立幼稚園振興事業

子どもが適切な幼児教育を受けられるように、私立幼稚園の円滑な運営、振興に努めるため、運営に係る経費の一部を補助する。

④ 私立幼稚園特別支援教育奨励費補助事業

障がい児の幼稚園就園の機会を拡充することによって、障がい児の健全な発達、及びその家庭を支援する。障がい児と健常児との統合保育を行うことは大切なことであり、障がい児教育のための人件費及び教育管理に要する経費を補助対象とし、障がい児数及び在籍月数に応じて私立幼稚園に補助する。

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
受 入 人 数	39人	45人	50人
受 入 園	15園	20園	19園
実 績 額	7,040千円	8,559千円	9,621千円

⑤ 幼保の食育指導の充実

健康な生活の基本として「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培うために、幼稚園・保育所での食育指導に取り組む。

管理栄養士をこども課内に配置し、幼稚園・保育所や園児・保護者への食育指導、また、食育指導計画作成の助言を行う。

(2) 義務教育の充実 4-2

① 地域人材活用の推進

豊かな知識・経験・技能を持つ地域人材を学校に招き、教員とのT T（ティーム・ティチング）による授業や行事、活動（校内外の清掃指導補助、クラブ活動での専門分野のボランティア指導、朝の読書タイムや昼休みのお話会・昔の生活についての講和、自動を守る会の下校指導、習字学習ボランティア、放課後学習ボランティア、公民館めぐりの指導等）を行う。

② キャリア教育推進事業

新教育課程で重視されている小学校における商業体験（キッズマート）や職業教育、中学校における職場体験を通した職業観教育や進路学習などの「キャリア教育」の充実を図るための支援を行う。NPO法人と連携し、学校におけるカリキュラム作成や、商業体験、職場体験における地域企業とのコーディネートを行ない、キャリア教育を支援する。さらに、成果発表会を開催して、全校に取り組みの成果を還元し、市立小・中学校におけるキャリア教育の充実と推進を図る。

平成22年度実践校	キ ャ ャ マ ー ト	勸興小、循誘小、神野小、松梅小など
	職 場 体 験	城南中、城北中、城西中、諸富中など

③ A L T の活用推進

中学校については、外国語指導助手（A L T）を派遣し、生徒が英語を母国語とする外国人から直接語学指導を受けて、生きた英語を学ぶ。また、小学校では、5・6年生の外国語活動において直接語学指導を受けて、国際理解教育に役立てる。

④ 小・中学校教科書等購入事業

平成23年度から全面実施される新教育課程に対応した「小学校教師用指導書」、及び新教育課程への移行措置に対応した「中学校教師用指導書」の購入と配布を行うことにより、教育内容の充実と指導の資質向上を図る。

⑤ 各種大会出場費補助事業

全国及び九州規模の各種大会（中体連、吹奏楽コンクール等）に出場する児童生徒に対し、遠征費用の一部を補助金として交付する。平成21年度からは、1競技ごとに、対象とする大会を全国大会と九州大会それぞれ1大会とした。

⑥ 早稲田・佐賀21世紀子どもプロジェクト

早稲田大学と協働で、子ども出前講座や教職員講座、大隈重信をテーマにしたスピーチコンテストを実施し、大隈重信や佐賀の自然環境に対する子どもたちの理解を深め、郷土の良さを見直す機会を提供する。

⑦ 支援指導員派遣事業

様々な理由により、子どもの教育に支障をきたす教員を抱える学校に市費の臨時職員（教員免許を持つもの者）を派遣し、子どもの指導の補助にあたる。

⑧ 学校問題解決サポート事業

教育委員会、嘱託指導員、学校、専門家、関係機関による学校サポートチームを整備し、問題行動を含め保護者への対応など、学校の諸問題の解決にあたる。スクールサポーター（警察官O B）の学校配置、児童生徒の相談・指導を行う。また、学校問題解決のため、関係機関とも連携しながら、各分野での経験と知識をもとに学校における少年の非行防止や児童生徒の安全確保等に対する指導・助言を行う。

⑨ 学校災害共済・賠償補償保険給付事業

小中学校の児童生徒を対象に共済給付事業の災害給付（医療費、障害見舞金、志望見舞金の支給）及び保険給付（学校賠償責任保険及び学校災害補償保険の保険給付）を行うことにより傷害等を被った保護者又は第三者を救済する。

⑩ 環境教育の推進（主管：環境課）

小中学校における環境教育を推進するために、各学校の環境教育の情報交換を支援する。平成21年度は、環境教育の広がりを進めるため、旧町村を含めた5校（小学校2校、中学校3校）を実践協力校に指定し、その活用を推進する。

⑪ 学校版環境 I S O の取り組み（主管：環境課）

児童生徒と教職員が環境について考え、環境保全を実践し、環境にやさしい学校マネジメントシステムを目指す取り組みを行う。

平成14年度に佐賀市と佐賀市教育委員会が設けた「学校版環境 I S O 制度」により、各学校が独自に作成した実行計画をもとに取り組む。

(3) いじめ、不登校等対策と特別支援教育の充実 4 - 2

① スクールカウンセラー活用事業

小中学校での不登校の急激な増加による教育相談事業の重要性を考慮し、児童生徒の臨床心理に関して、高度に専門的な知識・経験・資格（臨床心理士等）を有する専門のスクールカウンセラーを各小中学校に配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。具体的活動としては、悩みを抱えている児童生徒に対し、解決に向けてのカウンセリングや教職員からの相談に対して指導助言を行う。

② スクールソーシャルワーカー（S S W）活用事業

不登校児童生徒の学校復帰や社会自立を促すため、対象児童生徒の訪問面談に加え、学校、適応指導教室「くすの実」、サポート相談員、スクールカウンセラーと連携し、不登校の要因となっている問題の解決への支援を行う。S S Wの必要な免許資格・経験等としては、不登校関係の業務に関する6か月以上の実務経験や、精神保健福祉士・社会福祉士・臨床心理士・教員免許のいずれかを条件としている。

③ 不登校対策事業

適応指導教室「くすの実」を設置・運営し、心理的要因で登校できない状態にある児童生徒に対して、社会的自立を促し、集団生活に対応する力をはぐくむことを目指す。また、「サポート相談員」を配置し、不登校児童生徒の家庭を訪問して、不安の解消を図る。さらに、N P O 法人への業務委託により、家庭訪問支援を充実する。

平成22年度配置状況	サポート相談員（指導員数）
	6 人

④ 不登校児童生徒のＩＣＴ等を活用した学習活動支援

家にこもりがちな児童生徒を対象に、生活空間の拡充、学力をつけるための学習教材の提供、支援を目的として、学習ボランティアを自宅に派遣する。学習ボランティアは、適応指導教室「くすの実」の指導員を中心に、サポート相談員、学級担任とも連絡を取り合い、「家庭」から「くすの実」、そして「学級」への段階的復帰を目指す。

平成22年度配置状況	ＩＣＴ学習指導員数	学習ボランティア指導員数
	2人	3人

⑤ 学習支援員活用事業

学校において別室登校している児童生徒の学習支援や相談相手をすることで、別室登校状態の改善を目指した支援を行う。市立小中学校に配置している。必要な免許資格として、教員免許又は保育士を条件としている。

平成22年度配置状況	学習支援員数
	18人

⑥ ほのぼの育成指導員活用事業

不登校傾向にある児童の相談相手や悩みのある児童の話し相手になることで、児童の学校生活を支援する。さらに教室での授業や休み時間の活動についても帯同し、児童が楽しく学校に帰るように支援する。市立小学校に配置している。

平成22年度配置状況	ほのぼの育成指導員数
	1人

⑦ 心身障がい児等対応事業（生活指導員配置事業）

特別な支援が必要な、障がいのある児童生徒の在籍する小・中学校に生活指導員を配置し、対象児童生徒の自立のための支援を行うことで、学校生活への適応及び生活上の安全を図る。

平成22年度までは、生活指導員を34人配置し対応していたが、平成23年度からは、児童生徒一人一人に応じたよりきめ細かな指導を充実するため、指導員を72人として対応する予定である。

平成22年度配置状況	生活指導員数
	34人

⑧ 通級指導教室設置事業

通常の学級に在籍するＬＤ・ＡＤＨＤ等の発達障がいのある児童生徒に対して、障がいの軽減や克服を目的とした自立活動や教科の補充指導を行うための通級指導教室を設置している。

	学校名	通級教室数
通級指導教室設置状況	勸興小学校	4教室
	北川副小学校	2教室
	高木瀬小学校	2教室
	成章中学校	2教室
	春日小学校（平成22年度新設）	1教室
	大和中学校（平成22年度新設）	1教室
	計6校	計12教室

⑨ 就学前児童特別支援教育推進事業

嘱託の巡回相談員をこども課に配置し、幼稚園・保育園で特別な支援が必要な乳児・幼児をもつ保護者、その担当保育士・幼稚園教諭に対して、子どもの状況に応じた支援方法の指導・助言を行い、子どもたちが健やかな園生活を送ることができるように支援を行う。

また、小学校に配置されている専門指導員との連携を図ることにより、小学校への円滑な就学の手助けを行う。

(4) 学校経営の充実 4 - 2

① 学校経営方針の明確化と学校運営の改善

個性を活かした特色ある開かれた学校づくりを推進するため、各学校では、教育目標を分かりやすく示すとともに、より具体化した教育計画の策定に努める。教育目標を具現化するために、各学校では、学校運営組織の見直しに取り組み、組織としての機能の充実に努める。

また、各学校の経営方針や教育活動を保護者や地域の方々に十分に理解していただくために、平成14年度から学校毎にパンフレットを作成し、配布している。

② 到達度等調査研究事業

市立小中学校の児童生徒の学習到達度や学習状況等を調査・分析し、指導改善や児童生徒理解に活かすとともに、佐賀市全体や学校ごとの到達状況・指導改善策等についてホームページを通じて公開することにより、全市的な学力向上の取り組みを行う。

③ 教育委員会マネジメント事業

教育行政の方針の策定や評価及び市民の理解と関心を高めるための情報提供の充実に図るための施策を展開する。主な事業としては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく佐賀市教育委員会の点検・評価（第三者評価）や、教育基本法の規定に基づく佐賀市教育基本計画の策定、教育基本計画の進捗管理のための市民満足度調査の実施による開かれた教育行政の推進、先進事例の調査や本市先進事例の紹介など。

④ 小中学校のマネジメント支援事業

学校の独自性を高める教育活動に関わる事業を4つの枠に分類して、学校長からの申請に基づいて教育長が査定を行ない、学校長の目標とする特色ある学校運営に資するものについて事業費を配分し、各学校が申請内容に沿った事業を実施するもの。

[4つの枠]

◇学校評価枠：学校評価を踏まえた校長の学校経営ビジョン実現事業

◇学力向上枠：学力調査結果に基づき学力向上が特に必要な学校で、実施する事業

◇新任校長枠：新しい学校に着任した1年目に自分の経営方針に基づき計画する事業

◇小中連携枠：小中連携事業に係る経費を支援するもの

⑤ 学校評議員活用事業

学校の教育課題や教育活動について、保護者や地域住民等の意向を把握し反映させるため、赤

松小、北川副小、城南中には、各校10名程度の「学校運営協議会委員」を、他の49校においては、原則として各校5名の「学校評議員」を選び、教育委員会が委嘱する。学校では、校長が年3回程度、学校評議員の意見を反映させるための会議の開催や、個別に意見を述べてもらう場を設定する。また「学校関係者評価」の評価者として、学校自己評価に対する意見や改善策等を述べてもらい、今後の学校運営に活かすとともに、学校と地域・保護者をつなぐ役割を担う。

⑥ 学校外部評価システムの充実

校長、教職員、児童生徒、保護者による自己評価に加えて、児童生徒、保護者、地域住民、学校評議員等による学校関係者評価を全校で実施し、評価を生かした信頼される学校づくりを目指す。

⑦ 教育委員会の評価制度

教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するために、評価委員会を設置し、教育委員会による自己評価に加え、評価委員会による第三者評価を行い、事業の継続的な改善を図っていく。
(佐賀市教育委員会では平成19年度事業実施分から毎年実施している。)

また、教育政策市民満足度調査結果を施策に反映させることで、市民の意見を反映した教育施策を進めていく。

⑧ 学校事務改善事業

教員の事務負担を軽減することで、学校経営管理時間を創出し教育の質の充実を図ることを目的に、学校事務共同実施協議会を設置し市内10ブロックで学校事務の共同実施を行う。

また、行政との連絡用パソコンを校長、教頭、主幹教諭、教務主任、事務職員（県費及び市費嘱託）に配置することで、学校間や教育委員会との連絡を簡便にし、情報を共有できるようにする。さらに、全教職員へのパソコンの配置により校務サーバーや校務支援ソフトの活用を促進することで、教職員間の情報の共有化を図る。

⑨ 教科等研究会研究委託事業

本市教育における課題解決のために、学校内の研修だけでなく、学校を超えて各教科等部会を組織し、それぞれの教科で学習指導要領の趣旨を踏まえた喫緊の教育課題について研究テーマを設定し、事例研究や授業研究会を実施して研究協議を行い、指導方法の工夫・改善及び指導内容の充実を図るなど、小・中学校教育の一層の充実を図る。

⑩ 研究指定校委嘱事業

本市教育の推進に関する研究を学校に委嘱し、教育課題の解明に努め、本市教育の発展を図る。佐賀市研究委嘱校の指定（原則2年間）を行い、その成果を研究発表会等で広く公開する。また、国や県の研究指定も併せて行い、教職員のより一層の資質向上を目指す。

⑪ 教職員研修会支援事業

教職員の資質向上を図るため、各学校が行う校内研修会への支援を行う。校内研修については、各学校で自主的にテーマを決め、共通の手だてに基づく研究授業や、学校外部から講師を招聘するなど、研修の充実を図り指導の改善を図る。

⑫ 佐賀市教育研究所運営事業

教育界の動向及び児童生徒の喫緊の課題や実態等を的確に捉えた調査・研究、情報・資料の収集・提供・広報等を行う。特に、市の課題に対しては、課題研究部や児童生徒理解推進部を組織し、顧問を3名、所員を22名委嘱して年間20回程度の研究所員会を開催し、研究・検討を深めていく。その成果については、研究発表会の開催、電子データの配布によって広く公開する。また、市立小中学校の管理職、教職員を対象とした研修を開催する。

⑬ 教育委員と語る会開催事業

市民と教育委員が直接対話する機会を設け、市民の意見を広く求め、教育行政や施策に反映させるため、地域の公民館等で開催している。

平成22年度実践校区	川上校区
------------	------

⑭ 学校・保育所ミーティング（教育長と語る会・教育長を囲む会）開催事業

教育長と教育現場職員の対話の機会をつくり、学校現場教職員の意見を広く求め、学校と教育委員会の相互理解を深めていくことを目的とした「教育長と語る会（学校・保育所ミーティング）」を平成18年度から開催している。教育長と語る会は、5年間で全中学校区、市立幼保を一巡したため、平成23年度からは管理職等を対象とした「教育長を囲む会」を平行して開催し、学校現場と教育委員会の更なる相互理解の充実を図る。

平成22年度実施校区	対 象 校
芙 蓉 校 区	小中一貫校芙蓉校
城 西 中 校 区	城西中学校、西与賀小学校、本庄小学校
松 梅 中 校 区	松梅中学校、松梅小学校
川 原 保 育 所	川原保育所

⑮ 学校フリー参観デーの開催

市内各小中学校において、授業や給食など教育活動の参観を児童生徒の保護者だけでなく広く市民にも公開し、開かれた学校づくりの一環として、また、佐賀市の教育に対する理解促進のために年2回実施している。

H 22 年 度	第1回目（6月）	第2回目（秋）
参 観 者 実 績	22,516人	15,673人

⑯ 特色ある学校運営推進事業

学校と教育委員会が協働して、地域の実状の違いや児童生徒の実態の違い、学校周辺の環境の違い等の地域に応じた学校運営のあり方を探り、特色ある学校運営を目指すことを目的として実施する。事業の内容としては、市立小中学校の学校運営における教育課題等を学校と教育委員会が協働して取り組むことにより、緊急的課題を解決することが効果的であると思われる事業とする。本事業は、学校が自主的に企画立案してきた事業に対し教育委員会が採択を行う。

平成22年度 採択校(校区)	事業内容	対象年度
思 齊 館	小中一貫教育「思斉校」プラン推進事業	H21～22
本 庄 幼 小	幼小9ヵ年を見据えた一貫教育を支えるカリキュラム研究	H20～22
松 梅 小 中	小中連携教育	H22～23
北 山 校	小中一貫教育を核にした北山の人づくり推進事業	H22～23
城 北 中	人権意識を高め、社会性を育成する生徒会活動in城北コミュニティ	H22～23
東 与 賀 中	市民性をはぐくむ東与賀地域教育推進事業	H22～23

⑰ 生徒会活性化事業

生徒会役員リーダー研修会を開催し、生徒たちのリーダー性をはぐくむ場を設定するとともに、生徒たちが自校の活性化案「中学校パワーアッププラン」を企画立案・実行していく機会を提供することで、生徒たち自身の手による市立中学校の活性化を目指す。

⑱ 学校職員安全衛生管理事業

市立小中学校に勤務する教職員を対象とし、安全衛生管理体制を整備し、教職員の安全の確保、健康の保持を行う。各学校は衛生・健康管理委員会を、教育委員会は学校統括衛生委員会を開催し、職員の健康保持増進に関することを協議する。また、精神科医によるカウンセリングや管理職対象の研修会を開催する。

⑲ 学校地域連携支援事業

地域教育コーディネーター（非常勤嘱託職員）を市で採用し学校に配置する。地域教育コーディネーターは、学校を拠点とし地域に根付いた教育活動を通して、地域の教育力やふるさと意識（地域や佐賀への愛着）を高める。

活動内容としては、コミュニティ・スクール実践校における各小中学校の学校支援体制の構築や、地域行事における児童・生徒の参加促進（市民性をはぐくむ教育）による学校と地域の連携強化のための活動を行う。

(5) 教育機会の均等化 4 - 2

① 就学援助

経済的な理由により就学が困難だと認められる市内小中学生の保護者に対して、必要な経済的支援を行う。保護者からの申請により審査を行い、援助が必要と認められる場合は、その保護者に対し、学用品費、新入学用品費、就学旅行費、旅行費、給食費、医療費の一部又は全部を補助する。

平成22年度実績	認 定 者	事 業 費
小 学 校	2,095人	122,054千円
中 学 校	1,133人	76,477千円
合 計	3,228人	198,531千円

② 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級に就学する市内小中学生の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学に必要な経費（学用品費、給食費等）を援助する制度。保護者からの申請により審査を行い援助する。

平成22年度実績	認 定 者	事 業 費
小 学 校	110人	3,272千円
中 学 校	41人	1,704千円
合 計	151人	4,976千円

③ 高等学校生徒通学費補助事業

へき地に居住する方の子どもが高等学校又は専門学校に就学したときに要するバス代等の一部を助成する。なお、平成18年度に制度改正を行い、富士町、三瀬村の両条例を廃止し、大和町松梅地区、久保泉町の一部、金立町の一部を対象に加えた。さらに、平成19年度の合併に伴い、大詫間小学校区も対象となった。

年 度	支給人数	支給金額
平成22年度	139人	6,684千円

④ 通学費補助事業（小学校・中学校）

◇小学校：富士町、大和町に居住し、市立の小学校へ通学する遠距離通学（4 km以上）の児童及び肢体不自由の児童の保護者に対して、バス代定期等の8～10割を補助する。

◇中学校：富士町に居住し、市立の中学校へ通学する遠距離通学（6 km以上）の生徒及び肢体不自由の生徒の保護者に対して、バス代定期券の8割を補助する。

平成22年度	認 定 者	事 業 費
小 学 校	47人	2,421千円
中 学 校	47人	2,987千円
合 計	94人	5,408千円

⑤ 通学区域制度の弾力化推進事業

本市では、在学中における住所の変更や心身上事由など「相当と認められる理由」がある場合、通学区域の弾力的な取扱い（就学校の変更）を認めている。

さらに平成18年度からは、新小学1年を対象に居住している小学校及び隣接している小学校から1校を選べる隣接校の選択制、市内のどこからでも選択できる特認校制を実施するなど、保護者のニーズに答える学校選択制を導入している。

隣接校選択制・・・市内全小学校

特認校制・・・・・・小中一貫校芙蓉校（小）、松梅小、富士南小、富士小、小中一貫校
北山校（小）、北山東部小、三瀬小

(6) 安全な給食の提供と食育の充実 4 - 2

① 学校給食運営事業

学校給食用食器として使用する椀と皿は、旧佐賀市では平成13年度に切り替えを完了した。

また、平成17年度からは正しい持ち方ができるように低学年（1～3年生）児童用の箸を導入している。

② 食に関する教育指導の充実

県費学校栄養職員が配置されていない学校に嘱託学校栄養職員を配置し、安定した給食運営を行う。また、学事課に嘱託管理栄養士を配置し、市内の栄養教諭、学校栄養職員、及び各学校の給食主任と連携を図りながら、本市の「食育」指導の手引きを活用し食教育の充実を図る。

③ 学校給食における安全衛生の充実

「佐賀市学校給食衛生管理基準」を独自に策定し、安全で衛生的な給食の提供に努めている。給食で使用する食品については、「佐賀市学校給食納品規格書」に沿って食品を購入し、さらに食品が納入された際も、複数人で品質、生産地、賞味期限等を確認し、安全な食材を給食で使用している。

④ 学校給食食材の地場産品導入による食農教育の推進

学校給食で使用する食材（農産物）について、地元産の食材をより多く導入できるよう生産者・納入業者・JA・市農業振興課等と協力して取り組みを進める。平成21年9月からは、「さがしてみよう！佐賀のやさい」の取り組みを開始した。給食で地元の食材を使用し、同時に給食指導や給食だよりを通じて啓発を行うことにより、地元の農業や生産者のことを理解し、食農教育の推進を図る。

⑤ 学校給食の一部民間委託推進事業

学校給食調理員の正規職員退職者を補充せずに順次委託化を進めていく。平成14年度に西与賀小学校、兵庫小学校の2校で試行をし、平成15年度から本格的に民間委託を実施してきている。学校給食の作業工程のうち調理・洗浄部分を業務委託の対象としており、委託化によって削減された経費で市費の嘱託栄養職員の配置を行うなど、給食事業の充実を図る。

⑥ 中部学校給食センター運営事業

平成22年9月から稼動開始。選択制弁当方式（ケータリング方式）により、市内10中学校（成章中、城南中、昭栄中、城東中、城西中、城北中、金泉中、鍋島中、大和中、東与賀中）に給食を提供している。

⑦ 学校給食維持管理事業

学校給食を安全かつ円滑に提供するために、市内28か所（中部学校給食センターを除く）の給食調理場（自校方式、センター方式）の適切な管理を行う。

(7) 教育環境の充実 4 - 2

① 学校施設の整備

校舎等の耐震診断・耐力度調査等を行い、校舎等の強度・危険度を把握し、平成19年度には「新佐賀市学校施設整備計画」を策定した。今後は、この計画を基に、校舎、屋内運動場、プール等の改修工事及び建替えなどを行っていく。

② 小中学校施設改修事業

小中学校施設における安全・衛生・機能を一定水準以上に確保し、児童、生徒、教職員及び施設利用者が安全で効率的に施設を利用できるよう整備を行う。内容としては、市立全小中学校の施設の安全管理等にかかる小規模な工事や、教育環境の整備としての基本的な機能改善を実施する。

③ 小・中学校児童生徒用図書整備

学校図書館の児童生徒用の図書整備を進め、読書指導の活性化はもとより、学校の教育課程の多様な展開に寄与するとともに、児童生徒が自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応する能力を育て、学習情報センターとしての機能充実を目指す。

また、佐賀市内54校の学校図書館蔵書をデータベース化するとともに市立図書館とのネットワークを構築し、学校間及び市立図書館の図書資源の共同利用化を推進していく。

④ 小・中学校教育用情報機器の整備

小・中学校のコンピュータ教室に1クラス分の児童生徒用パソコン（最大40台）と教師用パソコン1台、サーバー等周辺機器を整備し、授業でパソコンが円滑に活用できるように、維持管理及び経年が経過した機器の更新を行う。また、学校巡回ヘルプデスクを配置し、学校の情報機器の運用を支援する。

⑤ 小・中学校運営経費

小中学校に必要な物品の購入、光熱水費の支払等において、一括して支払ったほうがメリットがあるもの以外は、各学校に配当を行っているフレーム予算で整備し、円滑な管理運営を図っている。

⑥ 小・中学校教材整備事業

小中学校の授業に必要な消耗品・備品は、共同購入したほうがメリットがあるもの以外は、各学校に配当を行っているフレーム予算で整備し、教育活動の充実を図っている。

⑦ 理科教育振興事業

小中学校の理科の授業に必要な備品を整備し理科教育の振興を図る。理科教育振興法の設置基準に定められている設備を整備する場合、その設備に要する費用の2分の1を国が補助する。隔年で、小学校と中学校を整備している。

⑧ ICT教育環境整備事業

国の「地域雇用創造ICT絆プロジェクト（教育情報化事業）」を活用し、教育現場にICT（情報通信技術）環境を構築し、実証研究を行うことにより、先進的なICT教育の有効性を検

証するもの。整備対象はインタラクティブホワイトボード、タブレットパソコン、無線LAN環境の整備。整備は平成22年度で終了しているが、実証研究として平成23年度から3年間の検証期間を設定している。

(8) 健やかな体の育成 2 - 4

① 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の配置

学校医（内科・眼科・耳鼻科）、学校歯科医、学校薬剤師を各学校へ配置し、健康診断の実施や保健管理に関する相談・指導・助言等を行うことにより、児童生徒及び園児の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施と児童生徒の健康に関する自己管理意識を高める。

② 児童生徒・教職員の各種健康診断等の実施

法により実施を義務付けられている、「児童生徒の健康診断」、「教職員の健康診断」、「未就学児（次年度小学校入学予定者）の健康診断」を、学校医または検査機関で実施している。

③ フッ化物洗口むし歯予防事業

虫歯の予防、歯の健康に対する意識の高揚を図ることを目的とし、学校でフッ化物洗口を実施する。学校薬剤師に洗口液を作ってもらい、週1回、希望する児童生徒にフッ化物洗口を行う。年間30回程度実施予定。

④ 学校環境衛生改善事業

学校環境衛生検査基準に基づき、学校薬剤師、佐賀大学の協力で学校環境衛生検査（空気検査、プール検査等）を実施している。空気検査（ホルムアルデヒド）は年1回、プールの水質検査は使用期間中に1か月に1回程度実施している。

(9) 子どもの安全確保のための取り組み 2 - 7

① 学校情報携帯メールの配信

あらかじめ携帯メール配信に登録した小中学校の児童生徒の保護者等に対し、犯罪・災害等の情報を即時に通知する。学校行事の変更など、学校情報の提供も行う。

[資料] 児童生徒数一覧

【小学校】

平成23年5月1日現在

学校名	区分	通 常 の 学 級							特別支援学級	合 計
	学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計		
勸 興	児童数	47	54	53	53	45	59	311	8	319
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	3	15
循 誘	児童数	88	77	64	74	101	83	487	4	491
	学級数	3	3	2	2	3	3	16	2	18
日 新	児童数	74	78	79	81	95	92	499	3	502
	学級数	3	3	2	3	3	3	17	1	18
赤 松	児童数	91	94	99	98	101	91	574	12	586
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	3	21
神 野	児童数	129	130	129	109	143	92	732	11	743
	学級数	4	4	4	3	4	3	22	2	24
西与賀	児童数	32	47	38	54	46	54	271	3	274
	学級数	1	2	1	2	2	2	10	1	11
嘉 瀬	児童数	45	44	37	34	50	31	241	7	248
	学級数	2	2	1	1	2	1	9	2	11
巨 勢	児童数	39	33	44	33	40	47	236	4	240
	学級数	2	1	2	1	1	2	9	1	10
兵 庫	児童数	116	101	122	98	122	122	681	5	686
	学級数	4	3	4	3	4	4	22	2	24
高木瀬	児童数	144	122	150	129	124	162	831	15	846
	学級数	5	4	4	4	4	5	26	3	29
北川副	児童数	89	94	85	94	107	103	572	8	580
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	2	20
本 庄	児童数	79	82	78	87	77	111	514	7	521
	学級数	3	3	2	3	2	3	16	2	18
鍋 島	児童数	136	143	142	142	154	152	869	10	879
	学級数	4	5	4	4	4	4	25	3	28
金 立	児童数	39	28	39	45	36	38	225	11	236
	学級数	2	1	1	2	1	1	8	3	11
久保泉	児童数	29	30	25	29	22	34	169	3	172
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	2	8
芙 蓉	児童数	15	11	18	13	20	12	89	2	91
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	7
新 栄	児童数	52	76	83	66	86	85	448	7	455
	学級数	2	3	3	2	3	3	16	2	18
若 楠	児童数	65	62	75	101	80	82	465	11	476
	学級数	2	2	2	3	2	3	14	2	16
開 成	児童数	104	93	103	112	115	95	622	7	629
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	2	20
諸富北	児童数	41	56	51	54	46	52	300	4	304
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	1	13
諸富南	児童数	41	49	45	46	44	54	279	7	286
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	14
春 日	児童数	110	78	103	104	90	95	580	5	585
	学級数	4	3	3	3	3	3	19	2	21
川 上	児童数	47	49	48	49	69	54	316	2	318
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	1	13
松 梅	児童数	5	6	9	5	7	6	38	3	41
	学級数	1	1	1		1		4	1	5
春日北	児童数	61	71	64	66	68	76	406	7	413
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	14
富士南	児童数	5	4	5	9	10	16	49	2	51
	学級数	1	1	1		1	1	5	1	6
富 土	児童数	5	11	13	8	15	9	61	0	61
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	0	6
北 山	児童数	7	7	6	7	7	6	40	1	41
	学級数	1	1	1		1		4	1	5
北山東部	児童数	0	3	1	3	3	2	12	0	12
	学級数		1	1		1		3	0	3
三 瀬	児童数	13	15	17	11	19	8	83	1	84
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	7
中川副	児童数	18	21	18	23	26	17	123	1	124
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	7
大詫間	児童数	8	11	14	11	11	13	68	1	69
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	7
南川副	児童数	47	44	55	61	62	65	334	1	335
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	1	13
西川副	児童数	45	44	50	55	49	63	306	1	307
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	1	13
東与賀	児童数	101	97	91	94	111	102	596	14	610
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	3	21
思 斉	児童数	65	80	83	104	99	84	515	8	523
	学級数	2	3	3	3	3	3	17	2	19
合 計	児童数	2,032	2,045	2,136	2,162	2,300	2,267	12,942	196	13,138
	学級数	78	78	74	71	77	76	454	60	514

平成23年度児童生徒数一覧表（中学校）

【中学校】

平成23年5月1日現在

学校名	区分	通 常 の 学 級				特別支援学級	合 計
	学年	1 年生	2 年生	3 年生	小計		
成 章	生徒数	157	145	157	459	8	467
	学級数	5	4	4	13	2	15
城 南	生徒数	152	156	159	467	3	470
	学級数	5	4	4	13	1	14
昭 栄	生徒数	205	195	187	587	8	595
	学級数	6	5	5	16	2	18
城 東	生徒数	185	207	190	582	8	590
	学級数	5	6	5	16	2	18
城 西	生徒数	111	144	139	394	1	395
	学級数	4	4	4	12	1	13
城 北	生徒数	180	206	211	597	2	599
	学級数	5	6	6	17	1	18
金 泉	生徒数	57	74	64	195	3	198
	学級数	2	2	2	6	1	7
芙 蓉	生徒数	18	22	15	55	0	55
	学級数	1	1	1	3	0	3
鍋 島	生徒数	211	200	239	650	9	659
	学級数	6	5	6	17	3	20
諸 富	生徒数	104	106	123	333	3	336
	学級数	3	3	4	10	1	11
大 和	生徒数	186	205	203	594	11	605
	学級数	6	6	6	18	2	20
松 梅	生徒数	7	10	13	30	0	30
	学級数	1	1	1	3	0	3
富 士	生徒数	19	21	22	62	0	62
	学級数	1	1	1	3	0	3
北 山	生徒数	5	8	8	21	1	22
	学級数	1	1	1	3	1	4
三 瀬	生徒数	18	11	18	47	1	48
	学級数	1	1	1	3	1	4
川 副	生徒数	140	124	128	392	4	396
	学級数	4	4	4	12	1	13
東与賀	生徒数	100	92	94	286	4	290
	学級数	3	3	3	9	1	10
思 斉	生徒数	70	79	86	235	4	239
	学級数	2	2	3	7	1	8
合 計	生徒数	1,925	2,005	2,056	5,986	70	6,056
	学級数	61	59	61	181	21	202

〔資料〕 小中学校教職員数一覧

【小学校】

※平23年 5 月 1 日現在

校名	県費職員数											市費職員数										総合計						
	校 長	教 頭	主 幹 教 諭	教 諭	養 護 教 諭	養 護 助 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	事 務 員	栄 養 士	計	事務 職員		栄養士		調理員		事務員		図書館 職 員		計		職 員	嘱 託			
												職 員	嘱 託	職 員	嘱 託	職 員	嘱 託	職 員	嘱 託	職 員	嘱 託	職 員	嘱 託					
勸 興	1	1		22	1			1	1		27		1.0		1.0				1.0		1.0	0.0	4.0	27.0	4.0			
循 誘	1	1		22	1			3	1		29		1.0		1.0				1.0		1.0	0.0	4.0	29.0	4.0			
日 新	1	1		22	1			2	1	1	29		1.0			4.0		1.0			1.0	5.0	2.0	34.0	2.0			
赤 松	1	1	1	24	1			3	1	1	33		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	34.0	2.0			
神 野	1	1	1	27	1		1	3	1		36		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	37.0	2.0			
西 与 賀	1	1		13	1			2	1		19		1.0		1.0				1.0		1.0	0.0	4.0	19.0	4.0			
嘉 瀬	1	1		13	1			3	1		20		1.0		1.0	4.0		1.0			1.0	5.0	3.0	25.0	3.0			
巨 勢	1	1		12	1			2	1		18		1.0		1.0				1.0		1.0	0.0	4.0	18.0	4.0			
兵 庫	1	1	1	26	1			5	1	1	37		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	38.0	2.0			
高 木 瀬	1	1	1	34	1			5	2	1	46		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	47.0	2.0			
北 川 副	1	1	1	28	1			4	1	2	39		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	40.0	2.0			
本 庄	1	1		23	1			1	1	1	29		1.0			3.0		1.0			1.0	4.0	2.0	33.0	2.0			
鍋 島	1	1	1	33	2			3	2	1	44		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	45.0	2.0			
金 立	1	1		13	1				1		17		1.0		1.0	3.0			1.0		1.0	3.0	4.0	20.0	4.0			
久 保 泉	1	1		10	1			1	1		15		1.0		1.0	3.0			1.0		1.0	3.0	4.0	18.0	4.0			
芙 蓉		1		10	1						12		0.5		1.0	3.0			1.0		0.5	3.0	3.0	15.0	3.0			
新 栄	1	1		22	1			2	1	1	29		1.0			3.0			1.0		1.0	3.0	3.0	32.0	3.0			
若 楠	1	1		19	1		1	3	2		28		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	28.0	3.0			
開 成	1	1		23	1			3	1	1	31		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	32.0	2.0			
諸 富 北	1	1		16	1			2	1		22		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	23.0	2.0			
諸 富 南	1	1		17	1			1	1		22		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	23.0	2.0			
春 日	1	1		27	1			3	1	1	35		1.0			4.0		1.0			1.0	5.0	2.0	40.0	2.0			
川 上	1	1		17	1			2	1	1	24		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	24.0	3.0			
松 梅	1	1		7	1			1	1		12		0.5					0.5			0.5	0.5	1.0	12.5	1.0			
春 日 北	1	1		22	1			2	2		29		1.0		1.0	3.0		1.0			1.0	4.0	3.0	33.0	3.0			
富 士 南	1	1		7	1				1		11		0.5						1.0		0.5	0.0	2.0	11.0	2.0			
富 士	1	1		7	1				1		11		0.5						1.0		0.5	0.0	2.0	11.0	2.0			
北 山		1		6							7		0.5						0.5		0.5	0.0	1.5	7.0	1.5			
北山東部	1	1		4	1				1		8		0.5						1.0		0.5	0.0	2.0	8.0	2.0			
三 瀬	1	1		8	1			1	1	1	14		0.5						1.0		0.5	0.0	2.0	14.0	2.0			
中 川 副	1	1		9	1				1	2	15		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	16.0	2.0			
大 詫 間	1	1		10	1				1		14		0.5						1.0		0.5	0.0	2.0	14.0	2.0			
南 川 副	1	1		17	1			2	1		23		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	24.0	2.0			
西 川 副	1	1		14	1			2	1		20		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	20.0	3.0			
東 与 賀	1	1		28	1			3	1	1	36		1.0			3.0		1.0			1.0	4.0	2.0	40.0	2.0			
思 斉	1	1		23	1			2	1	1	30		1.0			4.0		1.0			1.0	5.0	2.0	35.0	2.0			
小学校計	34	36	6	635	36	0	2	67	38	17	871	0.0	32.0	0.0	9.0	37.0	0.0	18.5	16.5	0.0	32.0	55.5	89.5	926.5	89.5			
																					計 145.0				計 1,016.0			

【中学校】

※平23年 5 月 1 日現在

校名	県費職員数											市費職員数										総合計			
	校 長	教 頭	主 幹 教 諭	教 諭	養 護 教 諭	養 護 助 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	事 務 職 員	栄 養 士	計	事務 職員		栄養士		調理員		事務員		図書館 職 員		計		職 員	嘱 託
												職 員	嘱 託	職 員	嘱 託	職 員	嘱 託	職 員	嘱 託	職 員	嘱 託	職 員	嘱 託		
成章	1	1		25	1			4	3		35		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	35.0	3.0
城南	1	1	1	26	1			7	2		39		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	39.0	3.0
昭栄	1	1	1	31	2			1	1		38		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	38.0	3.0
城東	1	1	1	33	2	1		4	2		45		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	45.0	3.0
城西	1	1		23	1				1		27		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	27.0	3.0
城北	1	1		28	1	1		6	2		40		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	40.0	3.0
金泉	1	1		11	1			3	1		18		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	18.0	3.0
芙蓉	1	1		7				1	1		11		0.5					1.0			0.5	1.0	1.0	12.0	1.0
鍋島	1	2	1	33	2	1		4	1		45		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	45.0	3.0
諸富	1	1		18	1		1	1	1		24		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	24.0	3.0
大和	1	1	1	34	2			3	1		43		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	43.0	3.0
松梅	1	1		7	1				1		11		0.5					0.5			0.5	0.5	1.0	11.5	1.0
富士	1	1		7	1		1	1	1	1	14		0.5						1.0		0.5	0.0	2.0	14.0	2.0
北山	1	1		7	1	1		1	1		13		0.5						0.5		0.5	0.0	1.5	13.0	1.5
三瀬	1	1		7	1				1		11		0.5						1.0		0.5	0.0	2.0	11.0	2.0
川副	1	1		23	1	1		5	1		33		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	33.0	3.0
東与賀	1	1		17	1			2	1		23		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	24.0	2.0
思斉	1	1		15	1			1	1		20		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	21.0	2.0
中学校計	18	19	5	352	21	5	2	44	23	1	490	0.0	15.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	13.5	0.0	15.5	3.5	44.5	493.5	44.5
																					計 48.0		計 538.0		

小中学校 総 合 計	52	55	11	987	57	5	4	111	61	18	1,361	0.0	47.5	0.0	9.0	37.0	0.0	22.0	30.0	0.0	47.5	59.0	134.0	1,420.0	134.0
																					計 193.0		計 1,554.0		

〔注〕 0.5は他校と兼務、0.5は事務図書兼務

〔注〕 小中一貫校の芙蓉校長、北山校長は小中兼務

〔注〕 市費：小規模校では、学校図書館職員が学校事務職員を兼務

〔注〕 市費：芙蓉校、北山校、松梅小・中学校では、事務職員・事務員は小中兼務

〔注〕 市費：職員数の（ ）内は嘱託職員の数で内数

〔資料〕 小中学校建物等一覧

平成23年 5 月 1 日現在

学 校 名	校 地 面 積 (㎡)			校 舎 面 積 (㎡)			保 有 教 室 数	
	総 面 積	建物敷地面積	運 動 場 敷地面積	鉄 筋 ・ 鉄 骨	木 造	計	普通教室	特別教室
本庄幼稚園	3,619	1,518	2,101	697	10	707	5	—
勸 興 小	25,642	9,993	15,649	5,583	58	5,641	15	10
循 誘 小	30,518	17,849	12,669	5,529	49	5,578	18	11
日 新 小	24,783	13,572	11,211	5,636	58	5,694	18	11
赤 松 小	30,172	17,241	12,931	5,970	76	6,046	21	8
神 野 小	20,486	12,542	7,944	5,575	81	5,656	24	13
西与賀小	23,023	10,044	12,979	4,578	78	4,656	11	10
嘉 瀬 小	21,257	11,518	9,739	4,175	109	4,284	11	8
巨 勢 小	18,362	9,919	8,443	3,377	152	3,529	10	9
兵 庫 小	23,022	9,540	13,482	4,990	58	5,048	24	6
高木瀬小	25,303	11,116	14,187	5,371	60	5,431	29	7
北川副小	24,586	10,127	14,459	6,189	127	6,316	20	9
本 庄 小	19,729	10,086	9,643	5,660	60	5,720	18	9
鍋 島 小	28,816	16,845	11,971	6,837	109	6,946	28	10
金 立 小	22,491	8,108	14,383	3,357	58	3,415	11	8
久保泉小	20,494	11,996	8,498	3,262	25	3,287	8	10
芙蓉校(小)	29,092	17,112	11,980	1,536	78	1,614	7	1
新 栄 小	23,124	9,713	13,411	5,190	58	5,248	18	10
若 楠 小	22,323	10,202	12,121	6,038	78	6,116	16	14
開 成 小	31,581	20,264	11,317	5,556	116	5,672	20	9
諸富北小	20,820	9,081	11,739	4,225	—	4,225	13	9
諸富南小	21,815	12,284	9,531	4,660	60	4,720	14	9
春 日 小	20,787	9,953	10,834	5,774	—	5,774	21	8
川 上 小	21,483	13,154	8,329	4,415	84	4,499	13	8
松 梅 小	7,158	4,338	2,820	1,849	31	1,880	5	7
春日北小	30,666	17,818	12,848	5,044	—	5,044	14	8
富士南小	21,380	14,028	7,352	—	2,281	2,281	6	6
富 士 小	11,625	7,693	3,932	2,550	—	2,550	6	8
北山校(小)	19,528	12,168	7,360	715	609	1,324	5	2
北山東部小	12,657	5,820	6,837	—	1,241	1,241	3	8
三 瀬 小	12,810	6,546	6,264	229	2,339	2,568	7	6
中川副小	18,926	8,198	10,728	4,005	—	4,005	7	11
大詫間小	15,493	5,040	10,453	2,303	43	2,346	7	6
南川副小	20,254	12,866	7,388	4,665	—	4,665	13	10
西川副小	22,609	12,020	10,589	4,273	—	4,273	13	9
東与賀小	24,817	10,934	13,883	4,634	8	4,642	21	10
思斉館(小)	21,008	9,281	11,727	5,436	—	5,436	19	11
小 学 校 計	788,640	409,009	379,631	149,186	8,184	157,370	514	309

平成23年5月1日現在

学 校 名	屋 内 運 動 場				給 食 室			プ ー ル		
	構 造	面 積	クラブ ハウス	建 築 年 度	構 造	面 積	建 築 年 度	構 造	面 積	建 築 年 度
本庄幼稚園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
勸 興 小	R	1,049	200	H5	R	169	53	RC	525	33
循 誘 小	S	1,200	—	H23	R	171	62	FRP	450	H5
日 新 小	R	1,230	220	H9	R	174	H2	RC	485	41
赤 松 小	R	1,387	—	52	R	177	H3	ステン	450	H5
神 野 小	S	1,200	—	H22	R	170	H5	ステン	400	H20
西 与 賀 小	S	820	—	56	R	183	55	RC	400	58
嘉 瀬 小	R	999	200	62	R	155	60	RC	375	40
巨 勢 小	S	730	—	48	R	155	59	RC	325	37
兵 庫 小	S	1,200	—	H21	S	204	H18	ステン	450	H7
高 木 瀬 小	S	1,200	—	H23	S	204	H10	RC	465	57
北 川 副 小	S	1,021	—	56	S	204	H12	ステン	475	61
本 庄 小	R	1,049	200	H3	R	170	H4	ステン	450	H3
鍋 島 小	S	1,200	—	H20	R	209	53	RC	405	40
金 立 小	S	718	—	46	R	151	55	RC	440	39
久 保 泉 小	S	1,200	—	H20	R	125	H8	RC	375	32
芙蓉校(小)	R	589	—	H12	R	125	H6	RC	450	大33小58
新 栄 小	S	747	—	48	R	170	46	RC	450	47
若 楠 小	S	990	—	53	R	187	52	RC	450	53
開 成 小	R	1,049	200	H1	R	170	H1	FRP	450	H1
諸 富 北 小	R	920	358	H3	—	—	—	RC	325	39
諸 富 南 小	R	990	238	H16	—	—	—	RC	325	45
春 日 小	R	972	108	57	R	245	52	RC	416	41
川 上 小	R	942	140	H4	R	219	H4	RC	419	42
松 梅 小	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
春日北小	R	929	178	H7	R	218	H7	ステン	455	H7
富 士 南 小	W	892	103	H17	—	—	—	ステン	325	H17
富 士 小	R	603	—	51	—	—	—	アルミ合金	477	54
北山校(小)	R S	569	—	H19	—	—	—	ステン	321	H20
北山東部小	R	463	—	57	—	—	—	RC	265	H14
三 瀬 小	S	660	—	H16	—	—	—	—	—	—
中 川 副 小	R	696	—	57	—	—	—	RC	500	H10
大 詫 間 小	R	800	201	H1	—	—	—	RC	375	40
南 川 副 小	R	941	263	62	—	—	—	RC	750	40
西 川 副 小	R	944	152	H23	—	—	—	RC	600	39
東 与 賀 小	S	1,192	—	45	S	301	H8	RC	1,140	41
思 斉 館 (小)	R	947	359	63	S	323	63	RC	1,300	48
計	—	33,038	3,120	—	—	4,579	—	—	16,263	—

平成23年5月1日現在

学 校 名	校 地 面 積 (㎡)			校 舎 面 積 (㎡)			保 有 教 室 数	
	総 面 積	建物敷地面積	運 動 場 敷地面積	鉄 筋 ・ 鉄 骨	木 造	計	普通教室	特別教室
成 章 中	33,931	14,476	19,455	5,355	65	5,420	15	19
城 南 中	35,119	17,405	17,714	7,488	58	7,546	14	18
昭 栄 中	33,091	20,458	12,633	8,263	58	8,321	18	17
城 東 中	27,954	14,728	13,226	7,044	107	7,151	18	18
城 西 中	27,891	12,889	15,002	6,168	58	6,226	13	15
城 北 中	38,889	10,264	28,625	5,747	91	5,838	18	15
金 泉 中	23,524	13,265	10,259	3,656	—	3,656	7	9
芙蓉校(中)	0	—	—	1,886	112	1,998	3	8
鍋 島 中	31,600	14,617	16,983	5,686	107	5,793	20	15
諸 富 中	27,746	9,956	17,790	4,301	11	4,312	11	10
大 和 中	43,593	26,438	17,155	7,709	—	7,709	20	18
松 梅 中	15,259	7,488	7,771	2,206	—	2,206	3	11
富 士 中	15,471	8,180	7,291	2,307	612	2,919	3	13
北山校(中)	261	261	—	1,511	650	2,161	4	10
三 瀬 中	10,987	8,477	2,510	1,829	—	1,829	4	4
川 副 中	31,649	14,481	17,168	7,807	—	7,807	13	18
東 与 賀 中	32,422	11,339	21,083	4,238	9	4,247	10	12
思斉館(中)	28,154	17,229	10,925	4,753	—	4,753	8	13
中 学 校 計	457,541	221,951	235,590	87,954	1,938	89,892	202	243

(改築中建物について、完成予定面積を算入し、取り壊し予定面積は除く。)

平成23年5月1日現在

学 校 名	屋 内 運 動 場				給 食 室			プ ー ル		
	構 造	面 積	クラブ ハウス	建 築 年 度	構 造	面 積	建 築 年 度	構 造	面 積	建 築 年 度
成 章 中	R	1,342	—	48	—	—	—	—	—	—
城 南 中	R	1,537	474	H4	—	—	—	FRP	400	H4
昭 栄 中	R	1,436	—	57	—	—	—	RC	375	38
城 東 中	R	1,277	348	62	—	—	—	FRP	400	H9
城 西 中	R	1,277	348	63	—	—	—	ステンレス	400	63
城 北 中	R	1,315	310	H7	—	—	—	RC	375	44
金 泉 中	S	1,157	180	H17	—	—	—	ステンレス	400	H10
芙蓉校(中)	R	749	—	H12	—	—	—	—	—	—
鍋 島 中	R	1,375	269	58	—	—	—	FRP	399	58
諸 富 中	R	1,141	—	41	—	—	—	RC	425	52
大 和 中	R	2,315	199	62	—	—	—	RC	1,000	46
松 梅 中	R	897	—	H2	—	—	—	RC	465	49
富 士 中	S	961	—	41	—	—	—	—	—	—
北山校(中)	R S	725	—	H19	—	—	—	—	—	—
三 瀬 中	S	455	—	H16	—	—	—	—	—	—
川 副 中	R	2,595	474	H5	—	—	—	—	—	—
東 与 賀 中	R	1,197	381	62	—	—	—	—	—	—
思 斉 館 (中)	R	1,364	540	H9	—	—	—	—	—	—
計	—	23,115	3,523	—	—	—	—	—	4,639	—

R (=RC)…鉄筋コンクリート造、S…鉄骨造、
RS…鉄筋コンクリート・鉄骨造、FRP…繊維補強プラスチック

[資料] 平成22年度就学援助費・特別支援教育集学費補助給付状況

内 訳 種 別		小 学 校			中 学 校			合 計 (円)
		児童総数 (人)	認定児童数 (人)	給付額 (円)	生徒総数 (人)	認定生徒数 (人)	給付額 (円)	
就 学 援 助 費	修 学 旅 行 費	13,360	2,095	4,127,830	6,212	1,133	17,720,403	21,848,233
	旅 行 費 (市費単独事業)			2,374,579			1,677,468	4,052,047
	学 用 品 費 等			26,891,185			26,189,547	53,080,732
	校 外 活 動 費 (宿泊を伴うもの)			524,401			55,765	580,166
	新入学用品費			4,616,800			7,579,900	12,196,700
	給 食 費			79,856,420			22,017,342	101,873,762
	医 療 費			3,662,778			1,236,113	4,898,891
	通 学 費			0			0	0
	計	—	—	122,053,993	—	—	76,476,538	198,530,531
特別支援教育就学 奨 励 費		13,360	110	3,272,403	6,212	41	1,703,552	4,975,955
合 計		—	—	125,326,396	—	—	78,180,090	203,506,486